

会費は毎月 1700 円で、会館使用料、おやつ代、行事のプレゼント代などに使っています。

子供達、お母さんたちの笑顔に私たちも元気を頂いて、みんなで楽しく良い時間を積み重ね、今年度は 10 年目に入ります。

飯森ともね

編集後記

久木小学校区住民協がスタートして 3 年目を迎えている。住民協の準備段階からは早くも 5 年が経つと聞く、四つの事業本部もそれぞれ課題を抱えながらも地域の問題にチャレンジしている。従来の行政の枠組みでは解決できない地域の多様な課題を行政・地域の住民・団体が衆知を集めて解決し、地域の主役たる各自治会・団体を支えるという理念自体が大きな挑戦であり。挑戦には必ず乗り越えなければならない壁が存在する。住民協四部会も活動立ち上げ段階を経て、本年度は各部会ともその活動をステップアップし新たな展開を迎える時期を迎えていることを強く感じる。

足許の事務局の課題は先ず、住民協の役割を地域の人に広く知って貰い、それぞれの人々にコンセプト・イメージを共有して貰うことが大切。「住民協ひろば」を広報誌として多くの方に読んで貰うべく、読み易く、興味を引く紙面を目指したい。更に広報機能の組織課、SNS の活用等を考えていると、親しくしている神武寺の住職から今年もまた、薄紫の「岩たばこ」の花が咲き満開であるという「お誘いがあった。梅雨時に咲く小さな花、季節は着実に移りつつある。

以上
事務局長 石井達郎

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第 27 号 (準備会から通算第 48 号)

発行日 令和元年 7 月 6 日

発行所 返子市久木 2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・・・地域の減災地図作りに参加しよう・・・

地域住民と一緒にまち歩きをしてまちを知り、発災時役に立つ減災地図作りを計画しています。地図作りに参加しませんか。6 月下旬から順次地域を分けて、半年程度の期間で行う予定です。モデル地域として、久木 1. 2 丁目からスタート。実施予定は自治会・町内会の広報・掲示板等でお知らせします。・・・住民協・減災部会

令和元年 6 月度役員会

令和元年 6 月 1 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分

久木会館で 19 名(うち役員 12 名)が参加して開催されました。主な議論は以下の通りです。

1. 県から急傾斜地調査に関するお知らせ
神奈川県横須賀土木事務所より土砂災害、急傾斜地(レッドゾーン)指定、及現地調査等の説明がありました。各自治会は 7 月から山の根地区、8 月から久木地区の現地調査が実施される

予定です。また、県としては、市の告知、土地の所有者への郵送、周辺住宅へのポスティングによって現地調査の周知を行うとの説明がありました。また、調査結果の公表は来年 3 月を目指すとのこと。

2. 事務局からの連絡

① 5 月のみんなの食堂: 5 月 31 日(金)久木会館にて「みんなの食堂」を開催した報告がありました。参加者は 148 名、赤ちゃん連れの人、他地域の方、高齢者の方、様々な方々が参加されたとのこと。6 月 28 日(金)は栃木屋さんの協力のもとで豆腐作り、7 月はトビウオクラブを招いてプラゴミについての懇話会を予定しているとのこと。

者が集まり市民協働部が主催し情報交換会が行われるとのこと。

② 返子市住民協議会定例会(5 月 17 日実施): 今後は 2 か月毎に、返子市内の小学校区の代表

③ 会館活性化プロジェクト第 3 回会合について: 久木会館の運営の組織化、収益基盤の強化、及び住民協事務局の組織基盤強化を目的として当プロジェクトがスタートし、会館内施設の見直し、より多くの方々の利用を促進し効率的な会館運営を目指すべく検討事項を協議、課題が整理されつつあり、具体的な実施事項については今後、お知らせして行くとのこと。

3. 審議事項

各部会代表から、現況報告今年度重点施策、全体への協力要請事項等の話がありました。

① ふれあい部会: 5 月 15 日に実施された葉桜福祉センターの視察・懇談会の内容が報告されました。

② 防災部会: 防災全体地図が試作されたこと、また久木 1.2 丁目をモデルケースとして、まち歩きにより詳細マップ作りを始めることの説明がありました。また、各地域の詳細地図がまとまった時点で(今年度末を予定)で防災

課と調整する予定であるとのこと。

③ 拠点部会：活性化プロジェクトをプロジェクトチームと展開中とのこと。

部会報告

ふれあい部会報告 龍村敦子

隣町葉山町の葉桜自治会内で19年間おこなわれている住民同士の有償の支えあい活動「葉桜福祉センター」に部会メンバー9人で伺いました。我々の部会も行きつ戻りつの試行錯誤の中、足取りはゆっくりですが、真剣さが増してきている中での見学会だったので、今後の私たちが本格的に実践するうえで参考になることが山ほどあり、期待以上の収穫でした。部会員9名それぞれ心に響いたことがあったと思いますが、龍村の個人的な印象をいうと「葉桜福祉センター」のコーディネーター8名の雰囲気が実に暖かい！のです。仲良しであり、真面目であり、ユーモラスであり、センター活動を楽しんでいる。住



民がやる活動はこの「楽しさ」がなければ続かないでしょう。勿論19年の歴史には苦勞がついてきたと思いますが、それを包含した「楽しさ」が今も意欲的な活動に繋がっていると思います。私たち住民のやる活動はそこにいることの心地よさから出発するといっても言い過ぎではないと感じた1日でした。

減災部会報告 金子春夫

<出席者> 鈴木(昌)、鈴木(為)、新倉、眞下、森田、森戸、山下、金子
<欠席> 鈴木(友)、中村
<開催日時・場所> 5月25日(土) 10:00~11:30 久木会館

1. 全体地図について

鈴木(為)委員が、各委員から収集した情報を基に更新した全体地図を配布し、意見交換をおこなった。これを6月1日の役員会で役員に提示して意見・提案を募ることとした。<確認しておく事項> 記入した災害時指定井戸は、最新の情報か否か 避難所に設置される災害時公衆電話の設備はどこにあるのか AEDの設置場所と、貸し出しについての問題の要否

2. 詳細地図について

以前災ボラが作成した、地域別の詳細地図を各委員に配布し、意見交換をおこなった。地域住民と街歩きをする際に使用するが、必要枚数を事前に申し出ることとした。

<意見>街歩きの際、地域住民のほかに消防団員に協力をお願いしてはどうか

3. スケジュールについて

久木1丁目、2丁目をモデル地区にして先行して、6月を目途に街歩きをするが、その際には鈴木(友)委員が作成したちらしを活用し、目的を明確に説明することが重要である。街歩きで得られた情報を、詳細地図に記入しておく。

街歩きの日時が決まったら通知するので、可能なかぎり減災部会員も同行することとした。4、次回の部会は、7月27日(土)とする。ただし、必要に応じて部会を招集する場合がある。

連載 【グループ紹介】 第12回 《おひさまクラブ》

おひさまクラブは、週1回、未就園の幼児と親とで遊ぶ会です。

おひさまクラブは、2010年5月にスタートしました。スタッフ4人は、もと同じ幼稚園に勤めていた仲間です。

始めは小坪の大谷戸会館をお借りしていましたが、建て替えのため、久木会館に移りました。以前の神社境内の久木会館で、畳の部屋で遊ぶのも、楽しいものでした。今は久小の校庭が見えるお部屋で遊んでいると、子どもたちのお兄さんやお姉さんが、休み時間に窓の外に来てくれることもあります。

おやつ時間 →

人生の中で、幼児期は大人でいる時間に比べてとても短いものです。幼稚園に入るまでの数年を継続して、親も子も楽しく良い時間が過ごせたらいいなあというのが、私たちの願いです。



おひさまクラブは民間の教育団体、NPO法人「くだけけ会」の考え方に則って活動をしています。「くだけけ会」は昨年40周年を迎えました。「くだけけ」とはにわたりの古語です。親鶏がひよこに心を砕いて、大切に育てるという意味です。

← みんなで遊ぶ

一人一人の育ちを大切に見ていきたいという考えで、1回ごとにメンバーを募集する

のではなく、クラブの会員になっていただくという形をとっています。会員は、毎年14、5組の親子です。雨が降らなければ、お弁当をもってお出かけして、四季折々の自然の中で、楽しいことを見つけて遊びます。

お母さんたちは、自分の子供だけでなくどの子にも笑顔で接して下さって、親同士もとても和やかで、穏やかな雰囲気があります。

子どもたちも、時間とともに友達意識が広がり、みんなで遊ぶ楽しさを味わっているようです。

西瓜割り →

